

I C T 環 境 整 備 事 業

教学指導課

1 事業目的

2022 年度から実施される高等学校の次期学習指導要領では、従来の知識習得型の学習から、課題発見・解決能力や論理的思考力を育む「探究的な学び」を中心とした学習への転換が求められている。そのために県立高校の I C T 環境整備を行い、新しい時代に求められる資質・能力の育成を図る。

2 事業内容

(1) 県立高校における I C T 環境整備

次期学習指導要領や高大接続改革に対応するため、2020 年度末までに I C T 機器を県立高校全校に対して整備することを目標として、計画的な I C T 環境を整備する。

整備内容（1 校あたり）

電子黒板と実物投影機を普通教室に 1 台ずつ、探究学習用 PC42 台、WEB 会議システム 1 式

(2) R E S A S を活用した地方創生のための探究学習

R E S A S（リーサス：地域経済分析システム）を用いて地域の現状や課題を分析し、地域の将来について考える探究学習を実施し、併せて、教員の I C T 活用指導力向上のために I C T 支援員等を派遣する。

(3) 教科「情報」の研修用テキスト開発

次期学習指導要領に対応した高等学校情報科担当教員の指導力向上のための研修用教材（研修用テキスト）を開発し、配布

(4) 「次世代型の学び」を支援するスマート・テクノロジー学習支援システムを導入した実践研究

次期学習指導要領や高大接続改革への対応、教職員の働き方改革を進めるため、生徒自身による学習記録の入力・蓄積が可能な学習支援システムや、校務の効率化を図る統合型校務支援システムを導入した実践研究を実施する。

3 平成 30 年度予算額 4 億 4 3 5 4 万 3 千円